

## 「乳癌」顛末記

梅津純子

思はざる検診結果くつきりと丸く小さき腫瘍を示す

乳房へ針刺し吸ひ採る細胞診二度の痛みの尋常ならず

「癌でした、来月手術入れますね」医師はモニター見る眼離さず  
セカンドオピニオン望めば医師苦りコロナ禍ゆゑに治療遅ると

生れしとふ孫の映像ひたに見る悪しき病を告げられしより

『プレバト』に心泳がせ乳癌の術後三日の病室にあり

「癌ではありませんでした」「えッ、そんなッ」腫瘍摘出退院七日後

誤診率数パーセントと告げざりし事を落ち度と医師平然と

水飲めば胸ひんやりと湯を飲めば即ち熱し乳房手術後

右肩の下からシートベルト引く左乳房に触れぬやうにと